

教科	商業	科目	グローバル経済	年次	2～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		グローバル経済（実教出版）					

学習 目標	(1) 経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に理解するようにします。 (2) 経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。	
評価の 観点	① 知識・技術	経済のグローバル化への対応など実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済に関する知識を身に付けている。
	② 思考・判断・表現	経済のグローバル化に関する知識を活用し、企業における経済のグローバル化への対応に関する課題を発見します。企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、科学的な根拠に基づいて解決することができる。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して、自ら経済について自己の役割を認識し、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、経済のグローバル化に対応したビジネスの展開に責任をもって取り組もうとしている。
評価の方法	定期考査の点数を中心に「知識・技術」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	第1章 グローバル化が進展する社会	・グローバル化と国際化の違いについて理解し、グローバル化する現在の社会について理解を深めます。 ・金融、企業、社会の多様性とグローバル化の関連について考えます。 ・グローバル化による問題点について考え、対応方法について検討します。
	第2章 経営のグローバル化	・グローバル経営を理解し、企業がグローバル化する理由について考えます。 ・企業が海外進出するにあたっての方法や難しさなどを学びます。 ・マザー工場システムや海外拠点の役割について理解し、グローバル化の問題点について学びます。 ・グローバル経営における課題を把握し、対応策について考えます。 ・グローバル経営を進めることで求められる社会的責任について理解します。
後期	第3章 経済のグローバル化	・経済のグローバル化における人材（ヒト）の状況を外国人労働者や賃金の観点を含めて理解します。 ・自由貿易と国際分業の観点をもとに、経済のグローバル化における財（モノ）のやり取りに関して、二国間協定や地域経済統合の意義を学びます。 ・金融の役割や形態、金融機関等について学び、金融の現状と外国為替に関する知識を学び、金融（カネ）のグローバル化について理解します。
	第4章 市場と経済	・需要と供給に着目した市場に関する理論について理解し、現実の社会における市場の役割と課題について学びます。 ・GDPについて理解し、マクロ的な視点から経済成長について学びます。 ・景気循環の仕組みについて理解し、その弊害について考察します。 ・経済政策における政府の役割について学び、現状と問題点について理解します。